

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	交通安全対策推進経費			担当部局庁	政策統括官(共生社会政策担当)	作成責任者	
事業開始年度	昭和45年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	交通安全対策担当	参事官 金子 健	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	交通安全対策基本法(昭和45年6月1日 法律第110号)			関係する計画、通知等	交通安全基本計画		
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通安全対策基本法に基づき交通安全基本計画の作成及びその推進を図るとともに、交通社会に参加する国民全てが、正しい交通マナーと交通安全の意識を持ち、「事故にあわない、おこさない」という意識の高揚を図り、安全な交通社会を形成すること。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全に関する施策の大綱となる交通安全基本計画の策定のほか、国をはじめ社会全体として取り組むべき重要施策等の推進を図るため、交通安全対策に関する施策についての調査研究等を実施する。 地域の交通安全活動に積極的に取り組んでいる交通ボランティア等の育成を図るため、交通安全指導等に必要な知識や技術等を学ぶ機会を提供する。 春・秋の全国交通安全運動、交通安全フォーラム、交通安全功労者表彰の実施により、国民の交通安全意識の高揚を図る。 						
実施方法	直接実施、委託・請負						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	127	116	75	83	129
	執行額	110	111	67	-	-	
	執行率(%)	87%	96%	89%	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	87%	96%	89%	-	-	
	平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由		
諸謝金		64	108	「新しい日本のための優先課題推進枠」50 高齢運転者交通安全推進事業及び高齢者交通事故対策調査経費の新規要求による増			
庁費		16	17				
職員旅費		2	3				
委員等旅費		1	1				
計		83	129				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績 目 標 値 達 成 度	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
								-年度	-年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	春・秋の全国交通安全運動の実施等を通じて、普段から交通安全を意識していると思う人の割合を95%以上にする。	春・秋の全国交通安全運動の実施等を通じて、普段から交通安全を意識していると思う人の割合	成果実績	%	41.2	-	-	-	-
			目標値	%	95	-	-	-	-
			達成度	%	43.4	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	インターネットによる共生社会に関する意識調査								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	春・秋の全国交通安全運動を始めとした施策が、交通安全の意識向上に役立っていると思う人の割合を70%以上にする。	春・秋の全国交通安全運動を始めとした施策が、交通安全の意識向上に役立っていると思う人の割合	成果実績	%	-	43.4	46	-	-
			目標値	%	-	70	70	-	70
			達成度	%	-	62.3	65.7	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をしている人の割合を90%以上にする。	自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をしている人の割合	成果実績	%	81.1	77.7	79.3	-	-
			目標値	%	98	90	90	-	90
			達成度	%	82.8	86.3	88.1	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 当 初 見 込 み	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	交通安全白書							回数	1
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 当 初 見 込 み	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	交通安全調査研究							回数	2
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 当 初 見 込 み	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	交通安全運動 (交通死亡事故死ゼロを目指す日を含む)							回数	2
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 当 初 見 込 み	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	交通安全フォーラム							回数	1
単位当たり コスト	算出根拠		単位当たり コスト	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=交通安全白書制作の決算額/Y=実施回数							百万円	2.5
単位当たり コスト	算出根拠		計算式	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=交通安全調査研究経費の決算額/Y=実施回数							X/Y	2.5/1
単位当たり コスト	算出根拠		単位当たり コスト	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=交通安全調査研究経費の決算額/Y=実施回数							百万円	11.2
単位当たり コスト	算出根拠		計算式	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=交通安全調査研究経費の決算額/Y=実施回数							X/Y	22.3/2
単位当たり コスト	算出根拠		単位当たり コスト	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=全国交通安全運動経費の決算額/Y=実施回数							百万円	3.2
単位当たり コスト	算出根拠		計算式	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=交通安全フォーラムの決算額/Y=実施回数							X/Y	6.4/2
単位当たり コスト	算出根拠		単位当たり コスト	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=交通安全フォーラムの決算額/Y=実施回数							百万円	1.8
単位当たり コスト	算出根拠		計算式	単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	X=交通安全フォーラムの決算額/Y=実施回数							X/Y	1.8/1

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	12. 共生社会実現のための施策の推進									
		施策	⑥交通安全対策の総合的推進								
	測定指標		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度	
		第10次交通安全基本計画の道路交通の安全についての目標 24時間死者数:平成32年までに2,500人以下	実績値	人	4,113	4,117	3,904	-	-		
			目標値	人	-	3,000	-	-	-	2,500	
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度		
		第10次交通安全基本計画の道路交通の安全についての目標 死傷者数:平成32年までに50万人以下	実績値	人	715,487	670,140	622,757	-	-		
			目標値	人	-	700,000	-	-	-	500,000	
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度		
		春・秋の全国交通安全運動を始めとした施策が、交通安全に対する国民への意識向上に役立っていると思う人の割合	実績値	%	-	43.6	46	-	-		
目標値	%		-	70	70	-	-	70			
定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度				
自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をしていると思う人の割合	実績値	%	81.1	77.7	79.3	-	-				
	目標値	%	98	90	90	-	-	90			
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
<p>第10次交通安全基本計画の道路交通の安全についての目標は達成できなかったが、昨年、死者数は、昭和24年以来67年ぶりに4千人を下回り、また、交通事故発生件数及び負傷者数は12年連続で減少するなど、これまでの各種施策については一定の効果は認められる。</p> <p>しかし、高齢化の進展に伴い、高齢者の交通事故死者数の割合は全死者数の半数を超えて過去最悪を更新している。また、高齢運転者による死亡事故が相次いで発生したことから、高齢運転者による交通事故防止対策について関係行政機関における更なる対策の検討を促進し、その成果等に基づき早急に対策を講じるため、交通対策本部の下に関係省庁局長級を構成員とする「高齢運転者交通事故防止対策ワーキングチーム」を設置して検討を進め、本年6月30日に全体的な取りまとめを行った。</p> <p>交通安全に対する国民の意識向上を図るため、春・及び秋の全国交通安全運動期間中、関係省庁、地方自治体及び関係団体と協力し新聞、ラジオ、インターネット等による広報活動を推進した。</p> <p>自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をしていると思う人の割合の向上させるため、地域の交通指導員に対して、地域住民の交通安全意識の啓発や、交通事故防止のための街頭活動・交通安全教育の資質を向上を図ったほか、平成28年10月、交通安全フォーラムを内閣府、和歌山県及び和歌山市の共催で「みんなにやさしい自転車の安全運転～ルールを守ろう、もしもにそなえよう～」をテーマとして開催した。</p>											

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	悲惨な交通事故を無くすため、常に交通安全について国民に意識を持ち続けてもらうためにも、引き続き、交通安全の知識の普及、交通安全思想の高揚を図っていく必要があり、社会のニーズを反映していると言える。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	交通安全対策基本法及び第10次交通安全基本計画等に基づき、悲惨な交通事故を無くすため、常に交通安全について国民に意識を持ち続けてもらう必要があり、国として総合的に交通安全の知識の普及、交通安全の知識の普及、交通安全思想の高揚を図っていく責務を有している。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	第10次交通安全基本計画の講じようとする施策として、交通安全思想の普及徹底の項が設けられていることから、優先度の高い事業となっている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、一般競争入札又は見積もり合わせを行うことにより競争性のある調達方式としている。一部、一者応札となったところであるが、引き続き一般競争入札等により適正な支出先となるよう努める。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	支出先の選定の際に十分な競争先を確保するなど、経費を節減しての事業実施に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交通安全対策に資する調査研究、人材育成、理解促進等に必要な事業の経費であり、削減可能なコストを精査し、真に必要な経費に限定し執行している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	職員旅費に関して、同方面の出張を併せて実施し、旅費の削減に取り組む等している。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	各種施策の実施により、成果実績は年々向上しているものの、目標値は達成できていない。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業の目的を効率的に達成するためには、人材育成や調査等については知見がある業者等に委託すべきと判断し、委託するとともに、競争性のある入札を実施することにより、低コストでの実施を目指している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	実績は見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	人材育成事業については、地方がそのノウハウを学び自らその事業を行うなどの効果が見られる。調査研究事業については、結果を次期交通安全基本計画の検討に有効活用している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	事業の実施に当たり、一般競争入札の実施、効率的な事業実施に努めた結果、適正な事業実施を行うことができた。	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に当たり、その手法や効果等の検討を実施し、引き続き予算の効果的・効率的執行に努める。 ・全国交通安全運動においては、ポスターの印刷等協賛団体等の協力を得て実施しており、引き続き効果的・効率的な実施に努める。成果目標を達成できるよう地方公共団体とも緊密に連携した交通安全活動を推進する。 	

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めて参りたい。

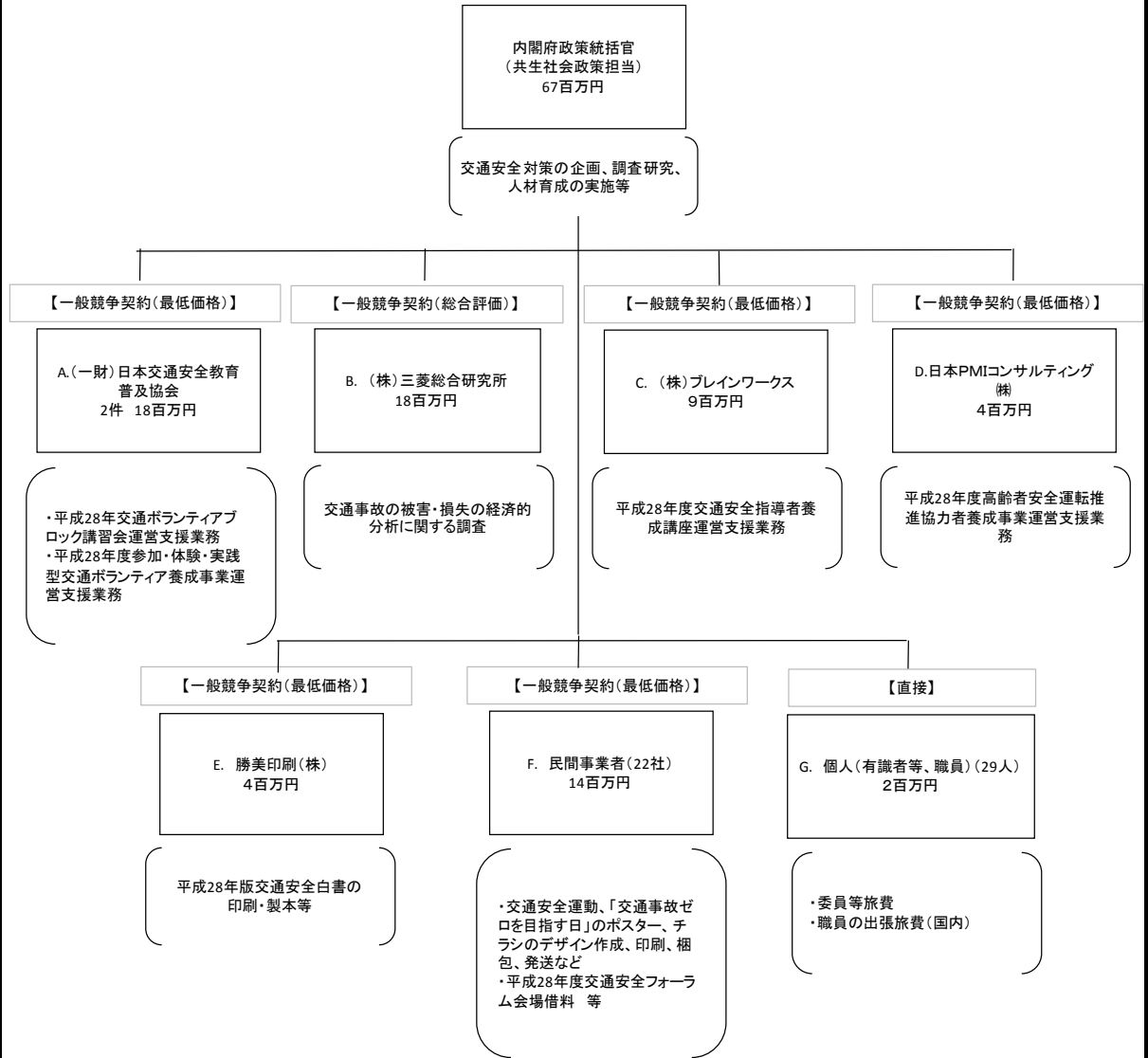
備考

成果指標については、本予算で実施している交通安全運動やボランティア養成事業などの主な目的が交通事故等の削減のための国民の交通安全意識の向上であるため、その指標として適切と考えられる国民の意識調査の結果を採用している。また、「インターネットによる共生社会及び子ども・子育て支援に関する意識調査」は、人口動態統計に沿ったサンプルに対して調査を実施しているものであり、客観性は担保されている。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0124	平成23年度	0131	平成24年度	0127	
平成25年度	0088	平成26年度	0084	平成27年度	0089	
平成28年度	0080					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※端数処理の関係で内訳が合計に一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.(一財)日本交通安全教育普及協会			B.(株)三菱総合研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	講師等旅費	6	人件費	研究員等	15
人件費	研究員等	5	事業費	謝金等	1
借料及び損料	講習会場等	4	その他	消費税	1
その他	消費税等	1			
謝金	講師等謝金	1			
雑役務費	テープ起こし等	1			
消耗品費	事務用品等	0			
通信運搬費	報告書送料	0			
会議費	会議飲料	0			
計		18	計		17
C.(株)ブレインワークス			D.日本PMIコンサルティング(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	旅費等	7	諸謝金、旅費	講師、参加者等	2
人件費	参加者等	1	印刷製本費	資料、チラシ等	1
その他	一般管理費、消費税等	1	借料	会場借料等	1
計		9	計		4
E.勝美印刷(株)			F.シンソー印刷		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	交通安全白書	4	印刷製本費	平成28年秋の全国交通安全運動ポスター	1
その他	消費税等	0	印刷製本費	平成29年春の全国交通安全運動ポスター	1
			その他	消費税等	0
計		4	計		2
G.職員A			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	(100万円未満)				
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)日本交通安全教育普及協会	7010405010405	平成28年交通ボランティア等ブロック講習会運営支援業務	12	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
2	(一財)日本交通安全教育普及協会	7010405010405	平成28年度参加・体験・実践型交通ボランティア養成事業運営支援業務	6	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	㈱三菱総合研究所	6010001030403	交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査	18	一般競争契約 (総合評価)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	㈱ブレインワークス	4140001010682	平成27年度 交通安全指導員養成講座運営支援業務	9	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本PMIコンサルティング㈱	3010001088337	平成28年度高齢者安全指導者養成講座運営支援業務	4	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	勝美印刷㈱	9010001001855	平成28年版交通安全白書の印刷・製本等	4	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

F.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	シンソー印刷株式会社	2011101036302	平成28年秋の全国交通安全運動ポスター	1	随意契約 (少額)	-	-	-
2	シンソー印刷株式会社	2011101036302	平成29年 春の全国交通安全運動ポスター	1	随意契約 (少額)	-	-	-
3	(株)エフシージー総合研究所	6010001012467	平成28年秋の全国交通安全運動ポスターのデザイン作成	0.5	随意契約 (企画競争)	9	-	-
4	(株)エフシージー総合研究所	6010001012467	「交通事故死ゼロを目指す日」(9月30日)チラシのデザイン作成	0.5	随意契約 (企画競争)	9	-	-
5	(株)エフシージー総合研究所	6010001012467	「交通事故死ゼロを目指す日」(4月10日)チラシのデザイン作成	0.5	随意契約 (企画競争)	7	-	-
6	朝日梱包(株)	9010601040880	平成28年秋の全国交通～交通事故死ゼロを目指す日(9/30)チラシの梱包・発送	0.4	随意契約 (少額)	-	-	-
7	朝日梱包(株)	9010601040880	*平成29年春の全国交通安全運動ポスター及び交通事故死ゼロ～チラシの梱包・発送	0.4	随意契約 (少額)	-	-	-
8	朝日梱包(株)	9010601040880	*平成28年度交通安全フォーラム広報用ポスター、チラシの梱包発送	0.2	随意契約 (少額)	-	-	-
9	朝日梱包(株)	9010601040880	*「平成28年版交通安全白書」の梱包発送	0	随意契約 (少額)	-	-	-
10	(株)miura-ori lab	7011101051544	平成28年秋「交通事故死ゼロを目指す日」(9月30日)チラシ	1	随意契約 (少額)	-	-	-
11	(財)交通事故総合分析センター	2010005018547	OECD加盟国の交通事故データの集計加工業務	0.9	随意契約 (少額)	-	-	-
12	音羽印刷(株)	4010001001587	平成29年春「交通事故死ゼロを目指す日」(4月10日)チラシ	0.9	随意契約 (少額)	-	-	-
13	(株)エヌ・ティ・ティ・アド	7010701013722	交通安全教育教材作成業務	0.8	随意契約 (少額)	-	-	-
14	(株)大阪共立	5120001142865	平成28年度交通安全フォーラム(機器借料・人件費)	0.8	随意契約 (少額)	-	-	-
15	(株)イメディア	4170001009920	平成28年度交通安全フォーラム(機器借料・人件費)	0.7	随意契約 (少額)	-	-	-
16	(株)天賞堂	9010001050794	平成28年度 交通安全功労者表彰における記念品	0.6	随意契約 (少額)	-	-	-

G.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	交通安全フォーラム出席旅費	0.1	その他	-	-	-
2	職員B	-	交通安全フォーラム出席旅費	0.1	その他	-	-	-
3	職員C	-	交通安全フォーラム出席旅費	0.1	その他	-	-	-
4	職員B	-	高齢者安全運転推進協力者養成事業出席旅費	0.1	その他	-	-	-
5	有識者A	-	交通安全功労者表彰式出席旅費	0.1	その他	-	-	-
6	有識者B	-	交通安全功労者表彰式出席旅費	0.1	その他	-	-	-
7	有識者C	-	交通安全功労者表彰式出席旅費	0.1	その他	-	-	-
8	有識者D	-	交通安全功労者表彰式出席旅費	0.1	その他	-	-	-
9	有識者E	-	交通安全功労者表彰式出席旅費	0.1	その他	-	-	-
10	有識者F	-	交通安全功労者表彰式出席旅費	0.1	その他	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	